

2025年度第1四半期 連結決算説明資料

2025年8月12日

- 決算ハイライト
- 2025年度第1四半期実績
- 2025年度セグメント別第1四半期実績
- 2025年度見通し
- 経営理念とビジネスモデル
- ESGへの取り組み
- 参考資料

社名	株式会社ヒラノテクシード
代表者	取締役社長：岡田 薫
資本金	1,847,821千円（2025年6月末時点）
所在地	奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1
グループ会社 (出資比率100%)	ヒラノ技研工業株式会社、株式会社ヒラノK&E、HIRANO AMERICA,INC.
従業員数	319名（連結：422名）（2025年6月末時点）
銘柄コード	6245（機械）

2025年度 1Q実績

	1Q実績	前年同期比
売上高	10,719百万円	-1,379百万円 -11.4%
営業利益	821百万円	529百万円 +181.1%
営業利益率	7.7%	+5.2pts
ROE	1.7%	+0.8pts

2025年度 業績予測

	2025年度予測	前期比
売上高	33,500百万円	-14,855百万円 -30.7%
営業利益	1,500百万円	-181百万円 -10.8%
営業利益率	4.5%	+1.0pts
ROE	2.9%	+0.5pts

トピックス

2025年度 1Q実績

- ✓ エネルギー分野を中心とした北米における本体や付帯工事は依然停滞傾向にあるが、国内案件に加え、改造・移設等が貢献し、売上高は前年比減収ではあるものの、1Q計画比は堅調に推移した。
- ✓ EV市場の停滞は続くものの、受注済みのEV市場向け装置の生産は順調に推移、仕向地変更・部品改造案件、国内案件の生産消化等が貢献し、増益となった。

2025年度 業績予測

- ✓ EV市場環境の先行きは引き続き不透明感が強い。定置用蓄電池など車向け以外の用途展開が今後広がる可能性がある。
- ✓ 国内、東アジアなどを中心にEV市場以外の様々な分野へ積極的に受注活動を行い、設備の新設のみならず改造・各種部品の供給等、潜在的な需要の掘り起こしにも注力し、増益を目指す。



2025年度第 1 四半期実績

2025年度1Q決算概要

2025年度 1Q実績

(単位:百万円)	24年度1Q A	25年度1Q B	増減 b-a	増減率 (b-a)/a
受注高	7,210	3,343	-3,867	-53.6%
売上高	12,099	10,719	-1,379	-11.4%
営業利益	292	821	+529	+181.1%
営業利益率	2.4%	7.7%	+5.3pts	-
経常利益	427	900	+473	+110.6%
経常利益率	3.5%	8.4%	+4.9pts	-
純利益	328	641	+312	+95.1%
純利益率	2.7%	6.0%	+3.3pts	-

2025年度 1Q概況

- ✓ 受注高：既存のEV向け機械装置の需要は低迷し、付随する付帯工事の需要も一段落、機械本体の大口受注が少なく、全体的な受注量は減少
- ✓ 売上高：塗工機関連機器ではリチウムイオン二次電池向け製品の受注残高消化のほか、顧客交渉により納期延期などで工程が停滞していた案件の進捗、付帯工事、国内案件の消化による貢献はあるものの前年より減収で着地
- ✓ 営業利益：EV市場向け装置の生産が予算に沿って順調に推移し、顧客交渉により仕向地変更に関わる追加費用の一部回収や、国内案件の生産消化、生産性改善による原価口入削減への取り組みにより営業利益率は向上
- ✓ 経常利益：借入による支払利息は増加するものの営業利益増加、配当収入増加に伴い、経常利益も増加
- ✓ 純利益：経常利益増加により純利益も増加

2025年度1Q セグメント別業績



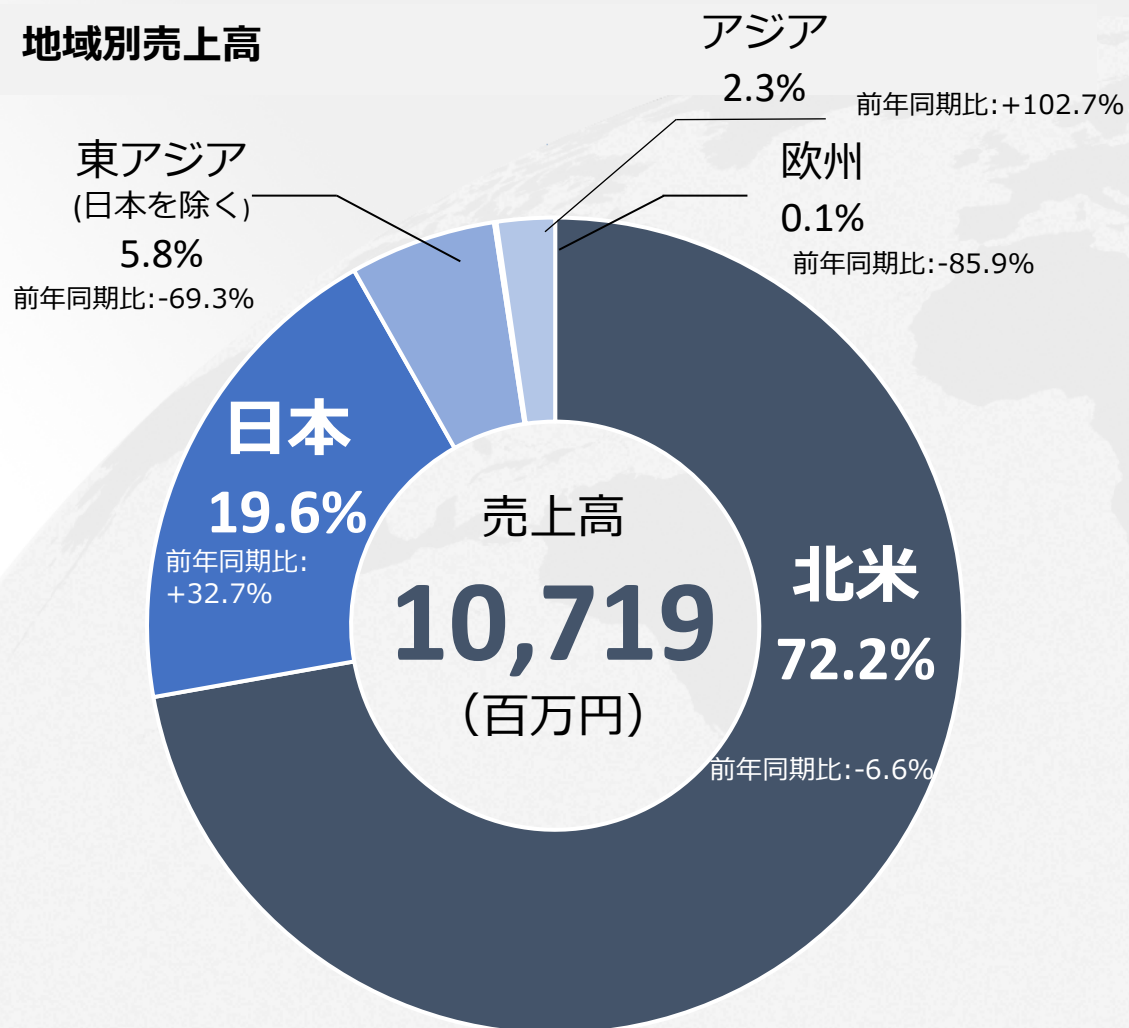
(単位：百万円)		24年度1Q	25年度1Q	増減	増減率
		a	b	b-a	(b-a)/a
連結合計	受注高	7,210	3,343	-3,867	-53.6%
	売上高	12,099	10,719	-1,379	-11.4%
	営業利益 ^{*1}	292	821	+529	+181.1%
	営業利益率	2.4%	7.7%	+5.3pts	-
塗工機関連機器	受注高	5,555	2,754	-2,801	-50.4%
	売上高	10,332	9,392	-940	-9.1%
	営業利益 ^{*2}	584	1,112	+528	+90.4%
	営業利益率	5.7%	11.9%	+6.2pts	-
化工機関連機器	受注高	1,299	309	-989	-76.2%
	売上高	1,260	1,020	-239	-19.0%
	営業利益 ^{*2}	-10	106	+116	-
	営業利益率	-0.8%	10.4%	+11.2pts	-
その他・調整	受注高	355	279	-76	-21.5%
	売上高	506	307	-199	-39.4%
	営業利益 ^{*2}	67	27	-39	-59.5%
	営業利益率	13.3%	8.9%	-4.4pts	-

*1：報告セグメントに帰属しない一般管理費控除後

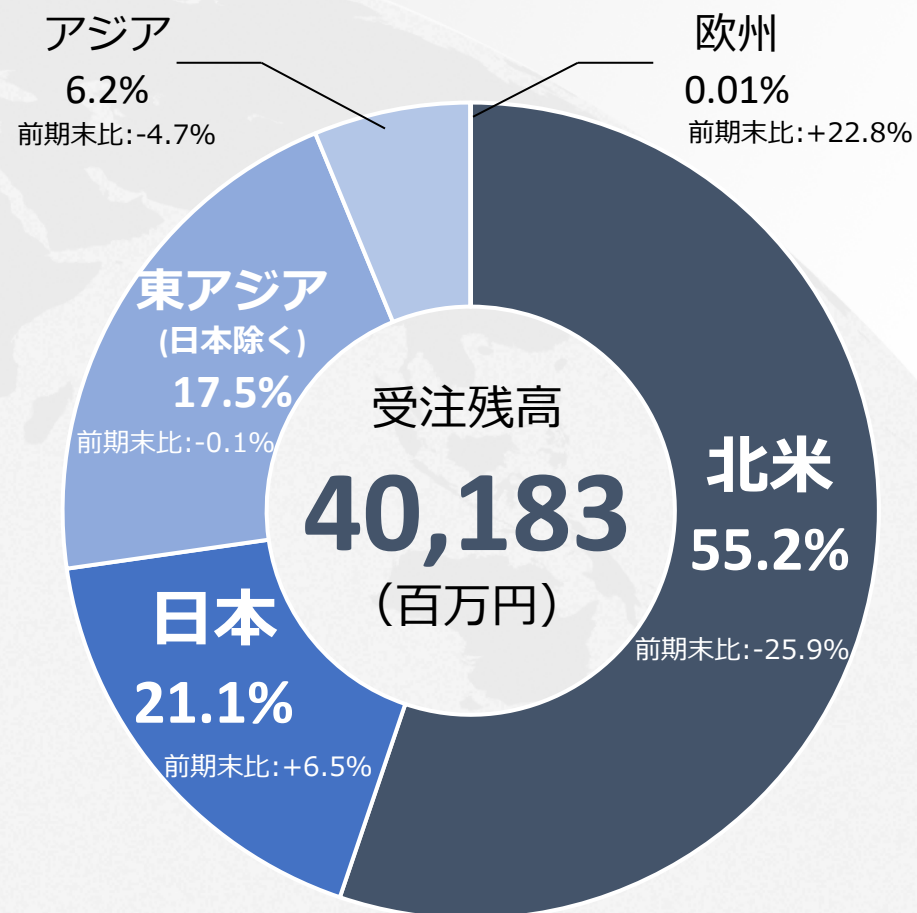
*2：営業利益は決算報告書のセグメント利益と同義・同様の数値

2025年度1Q 地域別 売上高比率 / 受注残高比率

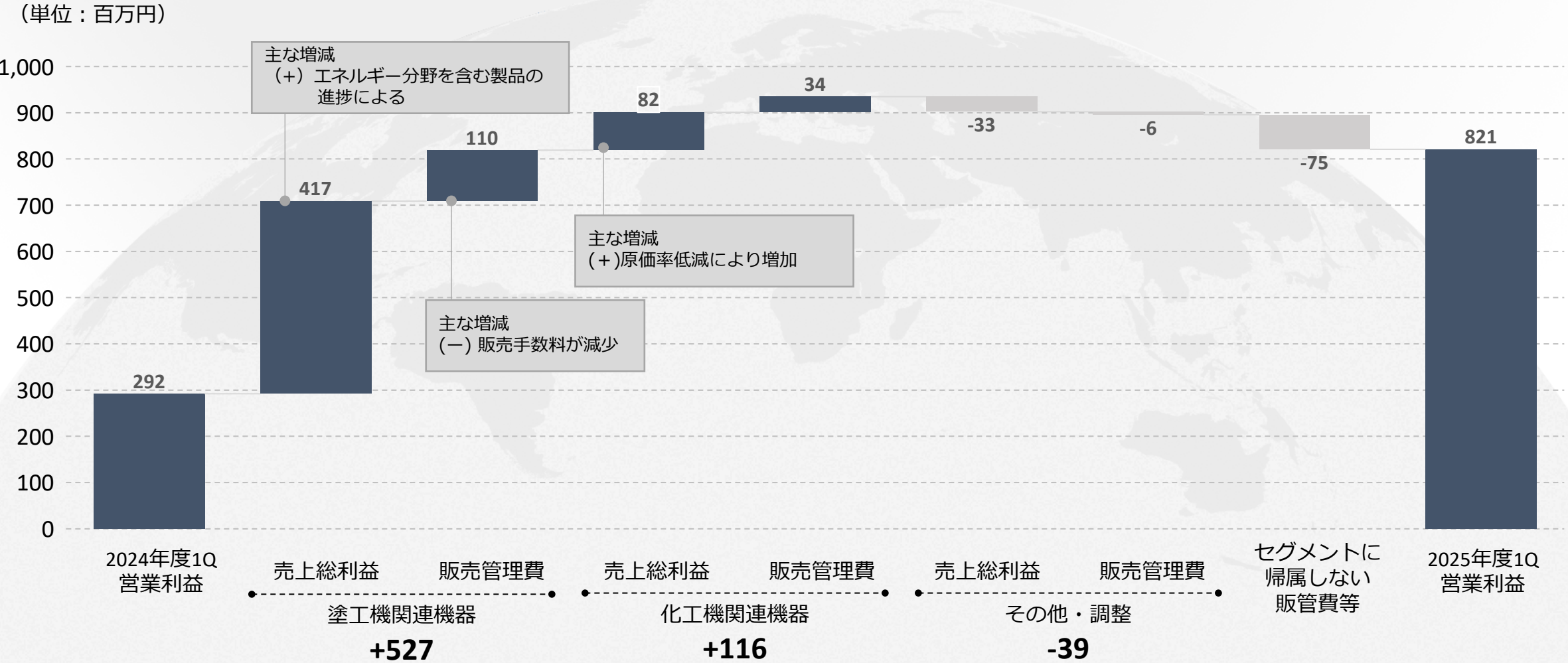
地域別売上高



地域別受注残高



2025年度1Q 営業利益の増減要因



2025年度1Q 貸借対照表

	2024年度	2025年度1Q	
(単位：百万円)	a	b	b-a
	金額	金額	増減額
流動資産	48,505	48,836	+331
固定資産	13,187	13,490	+302
有形固定資産	7,437	7,559	+121
無形固定資産	416	375	-40
投資その他の資産	5,333	5,555	+221
総資産	61,693	62,327	+633
流動負債	22,505	23,087	+582
固定負債	947	937	-9
純資産	38,240	38,301	+61
自己資本比率	62.0%	61.5%	-0.5pts

資産（2024年度末比）

- 流動資産 331百万円増加
- ✓ 売上債権及び契約資産が2,092百万円増加
 - ✓ 現金及び預金が1,125百万円増加
 - ✓ 前渡金が2,016百万円減少

固定資産 302百万円増加

- ✓ 有効固定資産が121百万円増加
- ✓ 無形固定資産が40百万円減少
- ✓ 投資その他資産が221百万円増加

負債（同）

流動負債 582万円増加

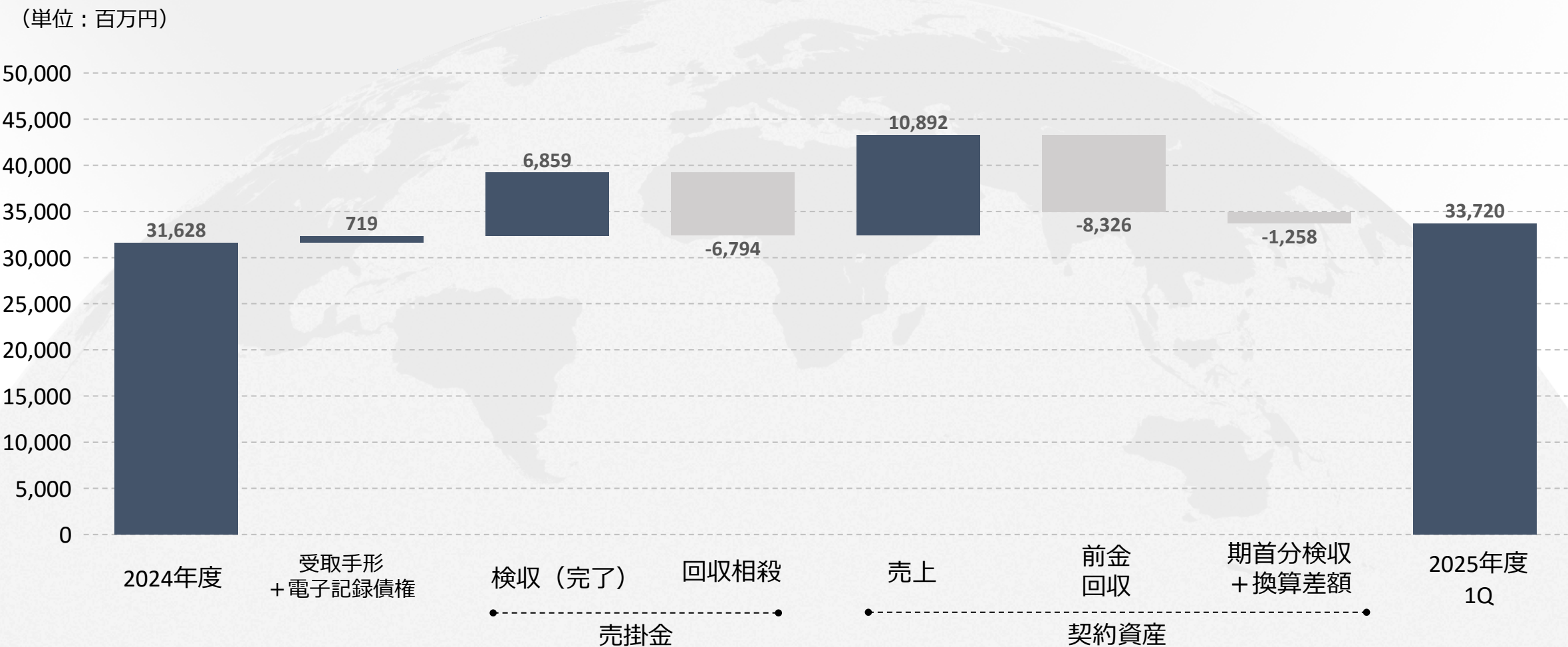
- ✓ 短期借入金が1,200百万円、前受金が960百万円、その他に含まれる未払費用が428百万円それぞれ増加
- ✓ 仕入債務が1,793百万円、賞与引当金が195百万円それぞれ減少

固定負債 9百万円減少

純資産（同）

純資産 61百万円増加

受取手形、売掛金及び契約資産 + 電子記録債権の増減

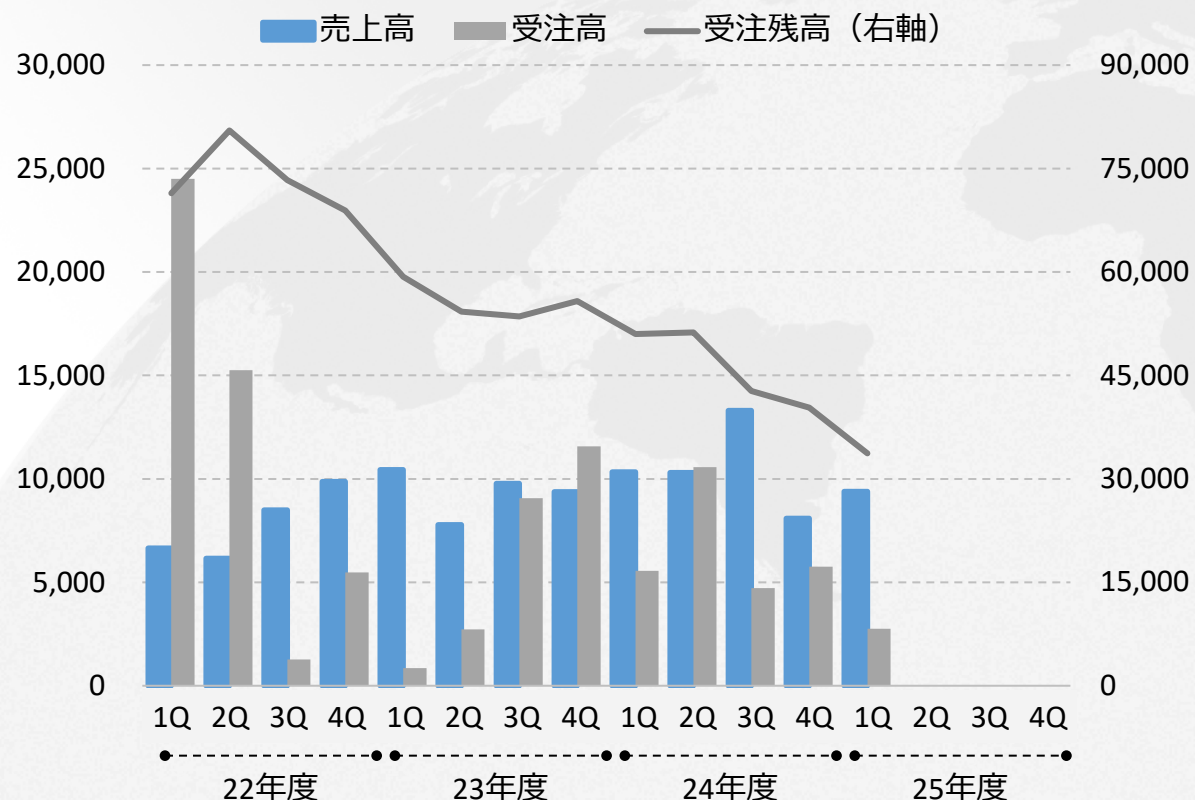




2025年度セグメント別実績 第1四半期実績

塗工機関連機器部門の受注残高・売上高・受注高推移

(単位：百万円)

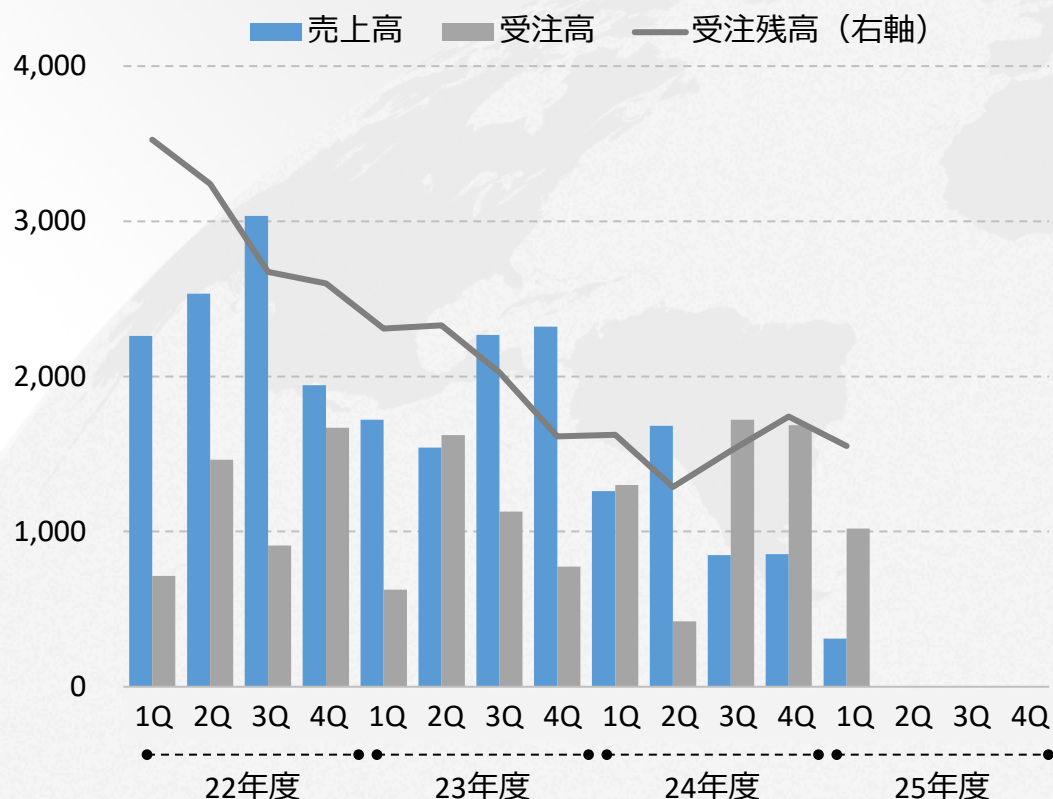


塗工機関連機器部門のハイライト

- ✓ 米国の通商政策等の影響により米国内への生産回帰が進むか引き続き注視が必要
 - ✓ エネルギー市場においては一部定置型蓄電池等の市場が今後拡大するとみられるもののEV市場分野においては鈍化傾向が継続
 - ✓ 光学フィルム等の引き合いはあるものの設備投資に対して慎重な動きもみられる
-
- ✓ 設備投資は様子見の傾向がみられ装置の受注は厳しい状況が継続、顧客要請により所掌範囲を拡大した付帯工事也需要は一段落
 - ✓ 機械本体以外に納期の短い既設機械の改造や部品受注獲得にも注力
-
- ✓ エネルギー関連を中心に、受注案件を消化
 - ✓ 付帯工事（機械装置の架台や電気工事など）も、受注案件消化が進む

化工機関連機器部門の受注残高・売上高・受注高推移

(単位：百万円)



化工機関連機器部門のハイライト

市場環境

- ✓ MLCCやポリイミドフィルム等の電子材料用途の成膜装置を中心に一定の投資意欲はあるが米国の通商政策等の影響の見極めにより設備投資に対して慎重な動きもみられる

受注高

- ✓ 国内や東南アジア、中国をはじめとする業界大手顧客からの引き合いはありつつも、受注量としては低調
- ✓ 電子材料関連向け成膜装置等、新規受注獲得の動きを強化

売上高

- ✓ 電子材料用途向けの成膜装置を主力としつつも、生産量が少ない状況は続き売上高は低調



2025年度見通し

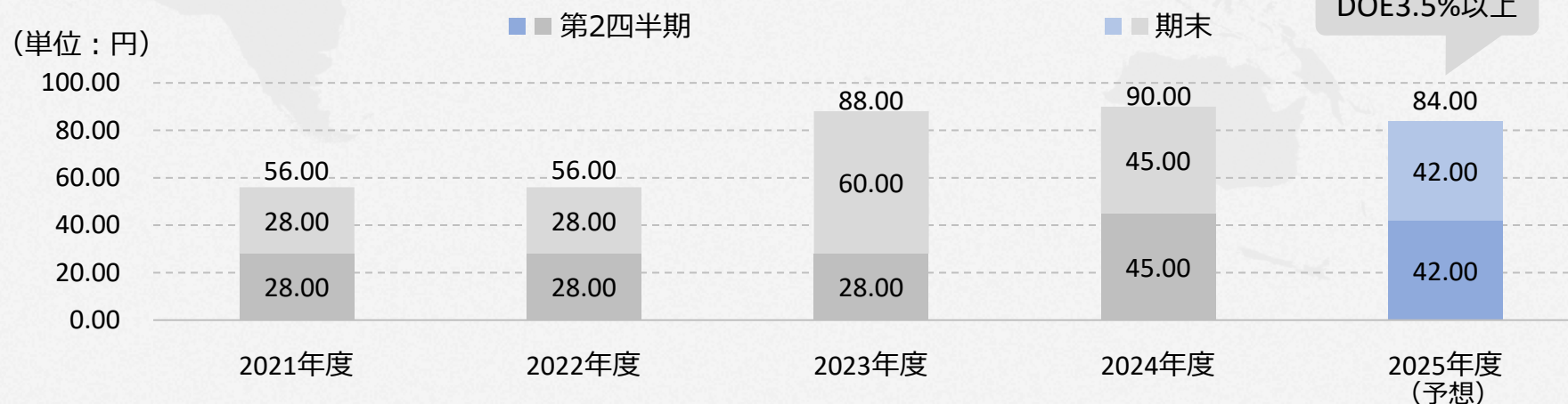
	2024年度実績	2025年度計画	前期比	
(単位：百万円)	a	b	増減 b-a	増減率 (b-a)/a
売上高	48,355	33,500	-14,855	-30.7%
営業利益	1,681	1,500	-181	-10.8%
営業利益率	3.5%	4.5%	+1.0pts	-
経常利益	1,894	1,600	-294	-15.6%
経常利益率	3.9%	4.8%	+0.9pts	-
当期純利益	905	1,100	+195	+21.4%
当期純利益率	1.9%	3.3%	+1.4pts	-
ROE	2.4%	2.9%	+0.5pts	
1株当たり年間配当金	90円	84円	-6円	
中間	45円	42円	-3円	
期末	45円	42円	-3円	

現行の配当方針を維持

配当方針

- ✓ 配当金についてはDOE3.5%または配当性向60%のいずれか高い金額を目安に実施
- ✓ EV市場の減速に伴い中期経営計画の見直しを行うが配当方針については継続
- ✓ 自己株式の取得については、成長投資に必要な資金を確保しつつ、財務状況や株価水準等を総合的に勘案し、資本効率と株主利益の向上に向けて機動的に実施

配当金額





経営理念とビジネスモデル

トータルコンセプト

ミッション

ポリシー

モットー



“人”と“技術”と“未来”を創る

“ロール to ロール”の技術で世界に貢献する

最新の技術で、最善の創造
最適な製品で、最大の信頼

働きがい・生きがいを大切にする経営

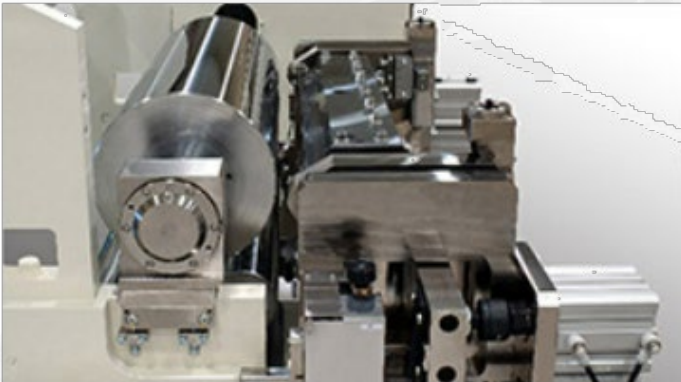
塗布技術



乾燥技術



搬送技術



紙・プラスチックフィルム・
金属箔、あらゆる素材の
表面に薄く均一な液膜を形成

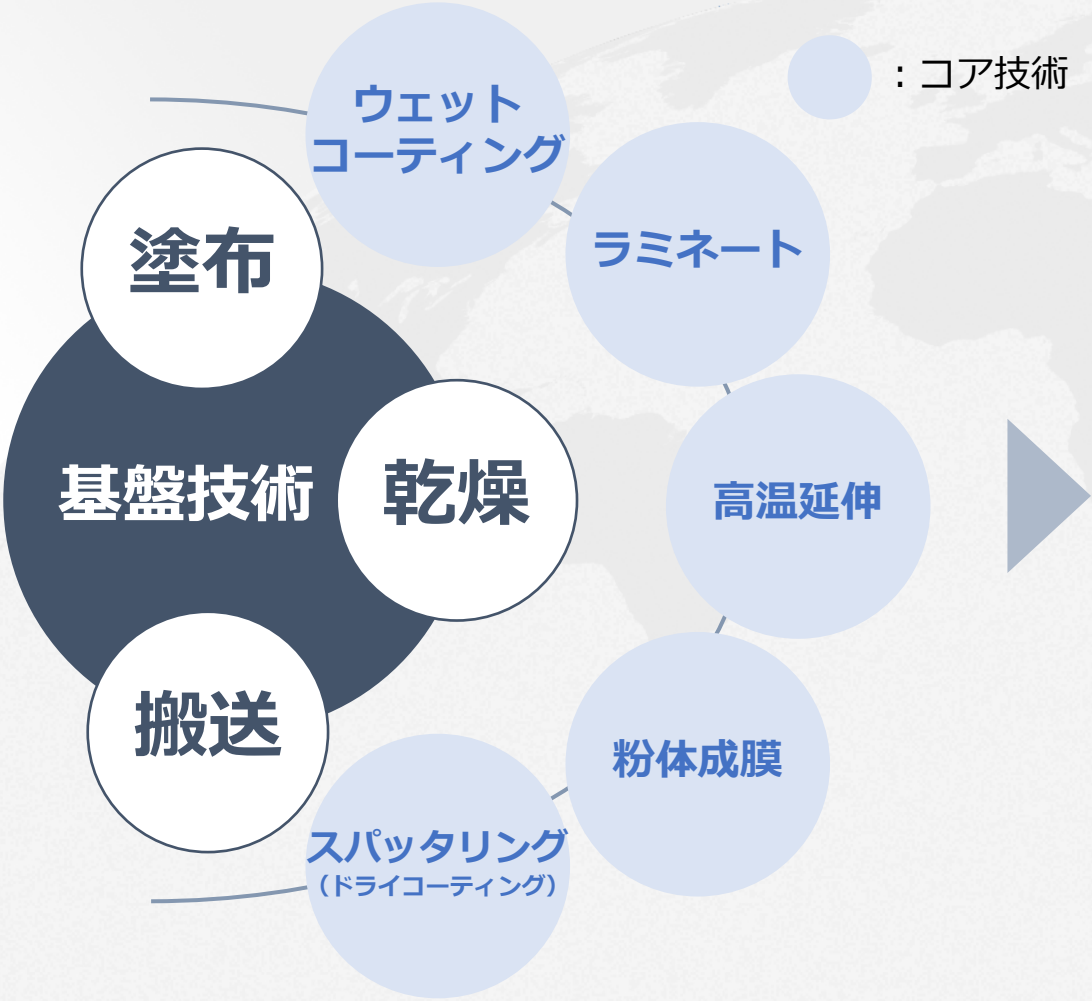


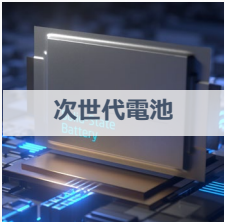
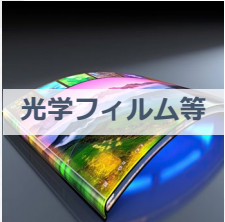
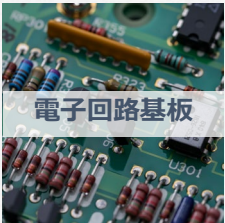
素材に塗工した液膜を定着させ機能を
持った素材に生まれ変わらせる



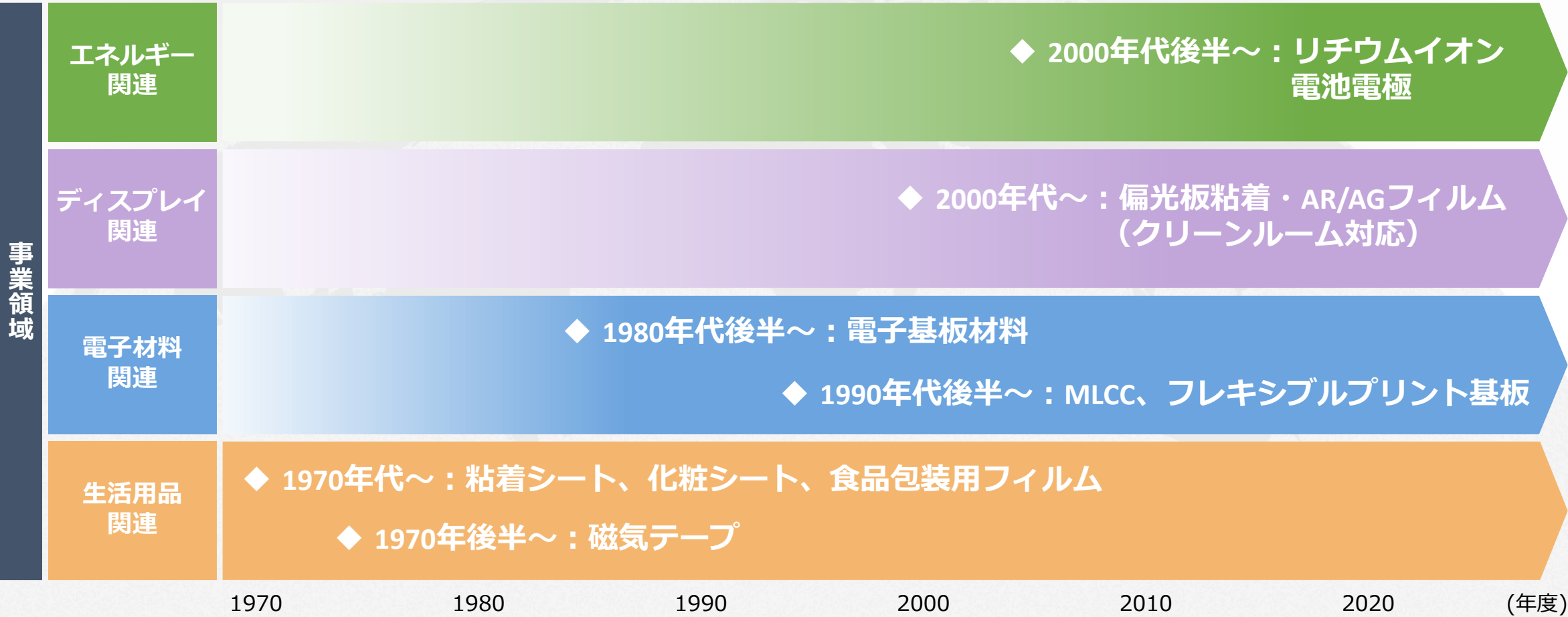
薄い素材を傷つけることなく
巻出し搬送して巻き取ることにより
安定的な量産を実現する

基盤技術・コア技術をベースに、エネルギー、ディスプレイ、電子材料、生活用品の4分野に製造ラインを提供



エネルギー 関連	 リチウムイオン二次電池	 太陽電池	 次世代電池
ディスプレイ 関連	 液晶ディスプレイ	 スマートフォン	 光学フィルム等
電子材料 関連	 MLCC	 ポリイミドフィルム	 電子回路基板
生活用品 関連	 高機能フィルム	 粘着テープ	 不織布関連製品

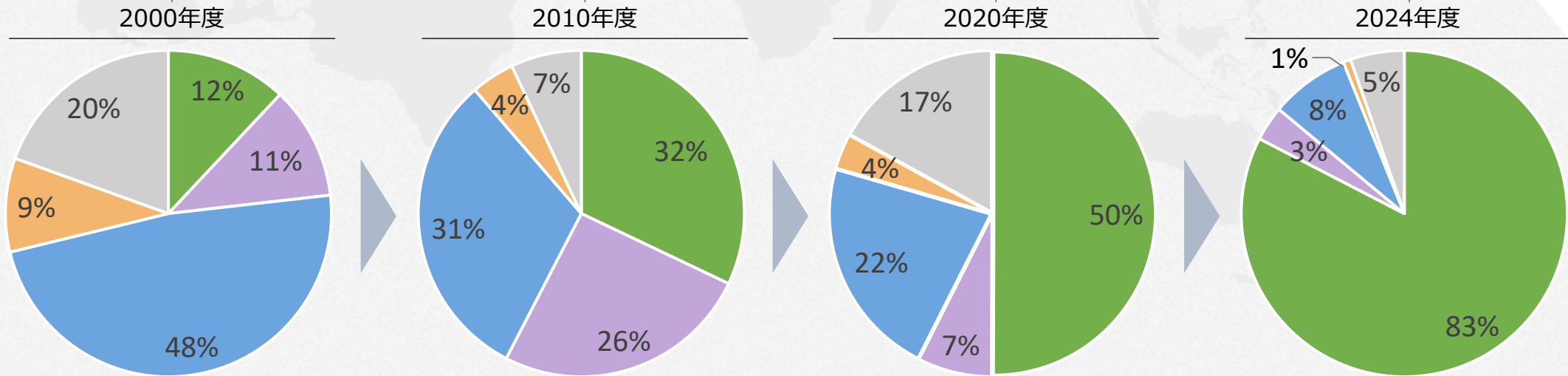
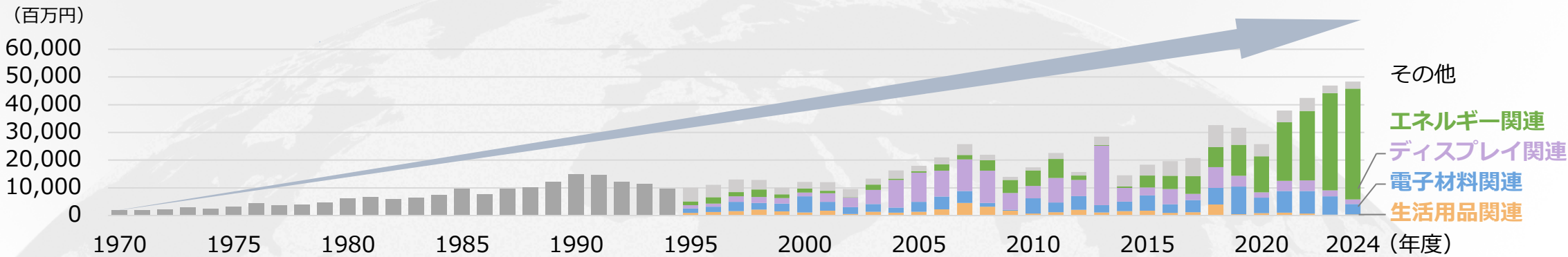
顧客の量産化ニーズに応え続けてきた結果、対応可能な事業領域は拡大



時代ごとに軸足を変えながら、長期的な成長を実現。直近はエネルギー関連が約83%を占める

用途別売上高

用途別比率



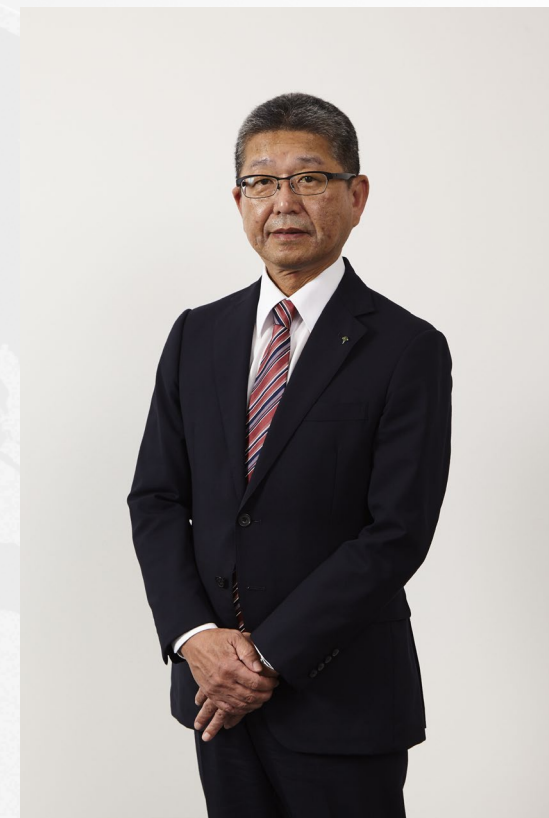


ESGへの取り組み (Environment、Social、Governance)

ヒラノテクシードはESG活動（Environment、Social、Governance）を企業の持続可能性と社会的責任を果たすための重要な取り組みとして位置づけています

「人と技術と未来を創る」の経営理念のもと事業活動を通じ新商品や技術を提供することによって社会の要請に応え続けてまいりました

今後も環境や社会への影響に配慮しながら事業を通じた社会課題解決を目指し、企業としての責任を果たします



- ✓ 持続可能な発展を念頭に環境対策に取り組んでいます

取り組み状況

事業を通じた地球環境への貢献

- ✓ リチウムイオン電池分野に加え、社会実装が近い次世代型太陽電池として期待されるペロブスカイト太陽電池などの開発を通じて貢献しています
- ✓ 豊富な納入実績を背景に、設備のメンテナンス事業を強化することによる設備の長寿命化を目指します

事業活動における地球環境への貢献

- ✓ 木津川工場においては、工作機械の自動運転を推進し、生産工程の効率化を進めています
- ✓ 工場屋根に太陽光パネルを設置し、太陽光発電を活用したCO2排出量削減に取り組んでいます

環境・安全推進組織

- ✓ 環境保全および安全管理の向上を目的として専門部署を組成し、持続可能な生産体制構築を進めております

- ✓ 社会との共生を目指し様々な活動に取り組んでいます。

取り組み状況

事業を通じた人々の暮らしへの貢献

- ✓ 生活に欠かせない多様な電子機器の発展・普及に貢献しています

人的資本への積極投資

- ✓ 階層別研修や技術習得に向けた計画的なOJTの実施等、人材育成研修の充実化
- ✓ 勤務形態の多様化による柔軟な働き方ができる環境の整備を進めています

地域コミュニティの活性化

- ✓ 地域活性化並びに福祉の向上を目指し河合町と包括連携協定締結
- ✓ バンビシャス奈良、奈良クラブ、市町村対抗子ども駅伝への協賛など子供を対象とした活動への重点的な支援や、職業体験機会を提供しています
- ✓ 地域の学校からの工場見学受入れ、工場周辺地域の美化、募金活動など

- ✓ 企業価値の最大化、経営の透明性・効率性の向上に向けて体制の強化に取り組んでいます

取り組み状況

すべてのステークホルダー にとっての企業価値向上

- ✓ 将来を見据えて収益源の多様化を図るとともに、戦略的・集中的な投資を推進し、非財務領域における取り組みも強化しています

経営の透明性・効率性の向上

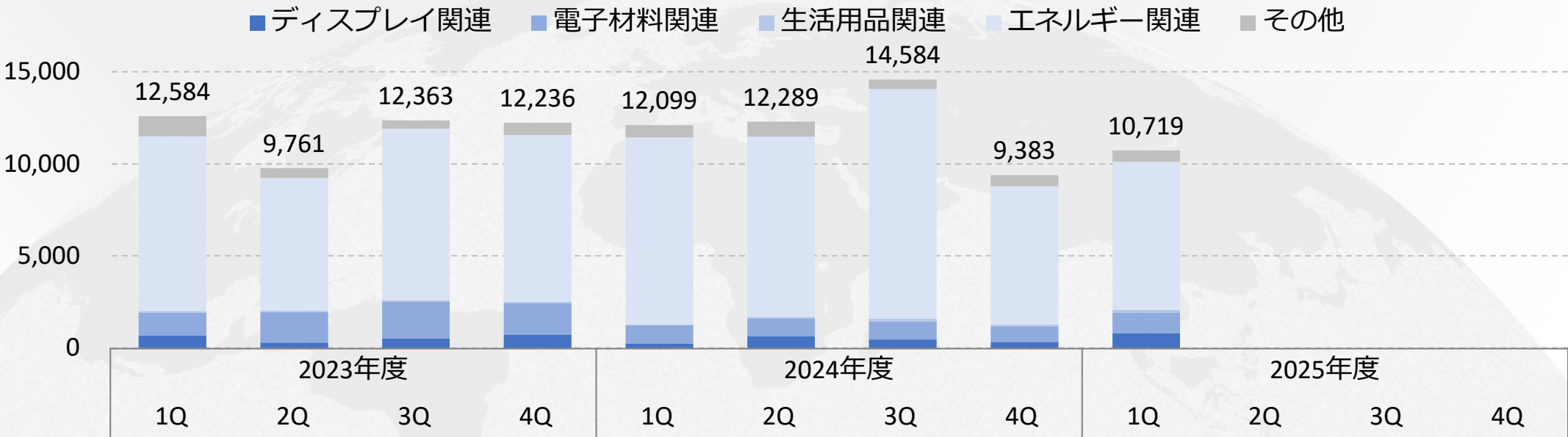
- ✓ 取締役会の活性化、意思決定の迅速化、透明性の確保を進めています
- ✓ 執行役員制度を2023年5月に導入し、経営と執行の分離による組織運営の効率化を進めています
- ✓ 社外の第三者機関によるコンプライアンス相談窓口およびハラスメントダイヤルを設置し、社内の利害関係から切り離された中立的な対応体制を構築しています



參考資料

用途別セグメント① 売上高（四半期ごと）

(単位：百万円)

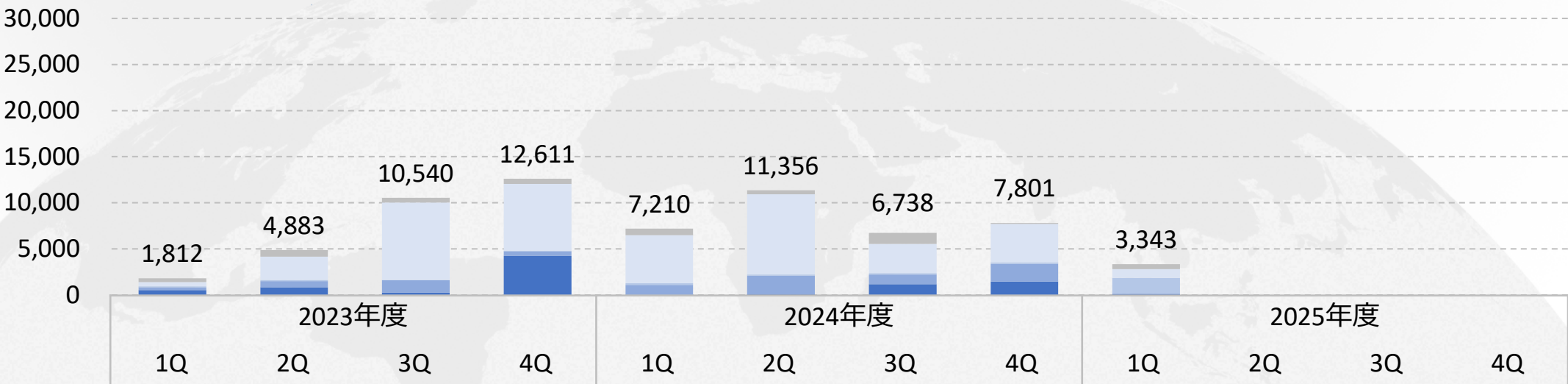


売上高比率	その他	8.7%	5.5%	3.7%	5.5%	5.4%	6.6%	3.6%	6.4%	5.7%
	エネルギー関連	75.4%	73.8%	75.5%	74.0%	83.9%	79.7%	85.6%	80.1%	75.0%
	生活用品関連	0.7%	0.8%	0.4%	0.7%	0.3%	0.7%	1.0%	1.0%	1.5%
	電子材料関連	10.0%	16.9%	16.2%	13.9%	8.2%	8.0%	6.7%	8.9%	10.3%
	ディスプレイ関連	5.3%	3.0%	4.3%	5.9%	2.1%	5.1%	3.1%	3.6%	7.6%

用途別セグメント② 受注高（四半期ごと）

(単位：百万円)

■ ディスプレイ関連 ■ 電子材料関連 ■ 生活用品関連 ■ エネルギー関連 ■ その他



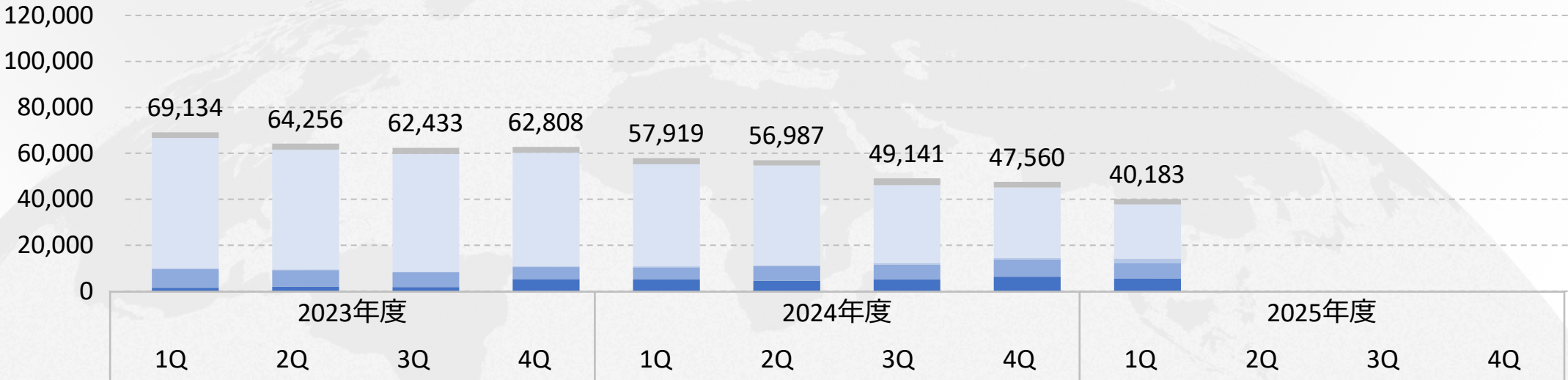
受注高比率	その他	23.0%	14.6%	4.7%	4.4%	10.0%	3.9%	17.8%	1.1%	15.8%
	エネルギー関連	24.1%	52.2%	79.8%	57.6%	72.3%	76.5%	47.0%	53.5%	28.3%
	生活用品関連	6.5%	2.1%	0.3%	0.4%	2.4%	1.2%	2.4%	2.2%	49.5%
	電子材料関連	16.3%	13.7%	12.8%	3.9%	15.2%	17.7%	15.5%	24.7%	3.6%
	ディスプレイ関連	30.1%	17.4%	2.4%	33.7%	0.1%	0.7%	17.3%	18.5%	2.8%

用途別セグメント③ 受注残高（四半期ごと）



(単位：百万円)

■ ディスプレイ関連 ■ 電子材料関連 ■ 生活用品関連 ■ エネルギー関連 ■ その他



受注残高比率

	2023年度				2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
その他	3.6%	4.1%	4.3%	4.1%	4.6%	4.0%	6.0%	5.1%	5.9%			
エネルギー関連	82.2%	81.2%	82.1%	78.7%	76.8%	76.2%	69.4%	64.7%	58.9%			
生活用品関連	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.6%	0.8%	0.9%	1.1%	5.0%			
電子材料関連	11.7%	11.0%	10.3%	8.3%	9.2%	11.1%	13.0%	15.7%	16.2%			
ディスプレイ関連	2.2%	3.2%	2.9%	8.5%	8.8%	8.0%	10.7%	13.4%	14.0%			

- 本資料は情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。

このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性及び公正性を保証するものではなく、当社は掲載された情報またはデータの誤りまたは不正確に関しまして、一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

予告なしに内容が変更または廃止される場合があります。

2025年8月12日

この資料に関するお問い合わせは

株式会社ヒラノテクシード コーポレート部門（TEL 0745-57-0681）まで